

初めまして、ゆうべると申します。

今回の記事では、
僕のことをまだ知らない人もいると思うので、
軽く自己紹介をしていきます。

僕は今インターネットを活用した
ビジネスの会社を経営しています。

独立してからは約4年くらいです。

元々はただの工場作業員だったのですが、
26歳のときにインターネットビジネスと出会い
パソコン1台で稼いで誰にも縛られない自由な世界に出会いました。

翌年には会社を辞め、
そこから本格的に参入しました。

今僕は31歳なので、
インターネット事業を初めてもうすぐ5年になります。
(1年はサラリーマンをしながら副業)

そして今は、
たった一人の会社ですが法人化することもできました。

素直に言えるのは、
僕はこのインターネットビジネスの世界に出会い、
人生が大きく変わりました。

ではここで、
箇条書きで軽く僕自身の説明をしますね。

- ・ 最高月収430万円（累計3000万以上）
- ・ 副業でインターネットビジネスを初めて半年で5万稼ぐ
- ・ 毎月50～150万円程度を完全自動で稼ぐ
- ・ 仕事は1日1～2時間程度
- ・ 休日はいつでも好きな時に決める

- ・誰にも何にも縛られない自由な生活
- ・体調不良で家で寝てても利益が上がる
- ・それをMacBook1台で達成する
- ・暇なときはスロットばかり打つ（もちろん期待値稼働）
- ・スロットのプラス収支もひたすら伸び続ける
- ・スロットオンラインコミュニティを運営
- ・ビジネスとスロットの二刀流でお金に困らない
- ・好きな時に好きなだけ美味しいものを食べる
- ・好きな時に好きな場所に旅行にいける（北海道・沖縄大好き）
- ・アマゾンで好きな本を大量買し、読みまくる（鬼滅の刃を最近読んだ）
- ・知識人になりたいためビジネスの勉強代で300万以上投資する
- ・セミリアイアしていたけど仲間を増やしたくてブログを書く

ざっと書いてみましたが、こんな感じです。

ここまで読むと、
とても信じられないと思います。

今では普通に堂々と話していますが、
僕の人生にこんなに自由に生きていくことなど
元々考えたことありませんでした。

自由とはかけ離れた
働きアリのように働き続けた時代の方が長いです。

実家がビンボー+ブラック会社勤務（3回）という
普通の以下の状態でしたが、

本気で自由な人生を目指して試行錯誤した結果、
たった数年でお金のために働く必要がなくなり、
趣味や旅行のセミリタイヤ生活を実現することができました。

いろんなことを学んだり、
人に出会ったりすると、

世の中には会社に縛られずに自由に暮らす人たちが
たくさんいることを知りました。

中にはシンガポールが好きすぎて、

シンガポールに移住する人とか、

旅行が好きすぎて
一年中旅行している起業家とか。

ギャンブルが好き過ぎて
毎日1時間程度仕事して
そのあとはスロットと競艇にどハマりする友人とか。

ちょっとビジネスでうまくいったときに、
調子に乗っている時期もありました。

ですが、
自分よりもさらに自由度の高い人を見ると
そんな調子も吹き飛びます。

海賊王になるといって街を出たルフィが
行く街行く街で強豪と出会って、

「まだまだ上には上がいるなあ」

みたいな感じかも知れません。

このブログでは、
そうした経験から学んだこともお伝えしています。

忙しくないのに超豊かな自由な生活、

というものに興味があるなら、
何かしら気づきや発見があると思います。

<h2>ゆうべるが歩んできた道のりと実績</h2>
<h3>偏差値最下位の高校を留年しそうになる</h3>

ここからは僕の道のりになります。

僕は人生でテストで100点を取ったことがありません。
人一倍勉強はできませんでした。

小学校でもテストは下から数番。
中学校では学年で下から数番。

高校進学も先生に「無理だ」と言われ、
中卒で就職するのは嫌なので、
手当たり次第高校を受験しました。

受験した高校の数は3つ。

- ・家から電車で30分の私立高校
- ・家から電車で50分の私立高校
- ・隣の県の電車で1時間半の私立高校

を受験。

家から電車で30分の
一番立地の良い私立高校は不合格の通知。

人生終わった

そう思いましたが、
家から電車で50分の高校と、
隣の県の私立高校は無事合格。

「隣の県はさすがにやばいだろ…」

ということで、
家から電車で50分の私立高校に入学しました。

入学したのはいいものの、
実家がビンボーのために入学日翌日から
時給650円のスーパーでアルバイトを開始。

その後は酒屋、引っ越し、漬物工場、飲食店など、
高校への電車代、昼食代、携帯代などを稼ぐために、
時給の良いバイトを常に見つけ、
数々の過酷なアルバイトを転々としました。

そんなバイト漬けの高校生活を送っていると
卒業前には単位が足りず、

「お前はそのままだと学校を卒業できないぞ」

と留年宣告を受けました。

なんとか頭を倒して倒して
先生の力を借りてギリギリ卒業することができました。

<h3>スロットとの出会い</h3>

高校卒業後の進路は自動車整備専門学校へ進学。

高校生の時に「イニシャルD」という漫画を読み、
影響を受けたのがきっかけです。

専門学生時代もバイトに明け暮れ、
なんとか150万円もの大金を貯金することに成功。

しかし、スロットと出会い、
負けたお金を取り戻そうと熱くなり、
貯金していた150万円はすべて吹き飛びました。

「数年頑張って貯めた貯金がすべて吹き飛んだ…」

と絶望の淵に立たされていた僕に
たまたま地元のスロプロの友人と出会いました。

スロプロに頭を下げて勝ち方をマンツーマンで教わり、
一気に勝ち組に転身。

そのときはバイトを辞め、
スロットで稼ぐことに集中。

専門学校に通いながらも
月に最高50万円を稼ぐこともできました。

スロットを打てば打つほどお金を稼げる。

これほどまでに自由に稼いだのは初めてで、
僕はスロットにどっぷりとハマりました。

その後就職活動をするも、
受ける会社受ける会社見事に落選。

「え？みんなどれくらい落ちてんの？」

と気になって友人に聞くと、

「俺は第一志望の就職先一発で採用だよ」

と悲しい宣告をされました。

自分だけニートの道になりかけるも、
就職率100%を実施したい学校の先生の力を使い、
なんとか大手自動車メーカーに無理やり入れてもらう。

これは本当に奇跡だと今でも思う。笑

両親からは、

「大手に就職できたらか今後は安泰だね！」

と言われ、僕も今後の人生に安心をしました。

<h3>過酷すぎて交通事故を起こして死にそうになる</h3>

大手自動車メーカーの整備士として
なんとか入社することができました。

が、その大手自動車メーカーは
僕の理想とかけ離れた地獄のような会社でした。

まず、就業時間が地獄です。

朝9時に出社し、作業を開始。

普通なのはここまでです。

まずお昼休憩はありません。
唯一あるのはお店が閉店した後の
18時ごろに30分程度の休憩。

駆け足で職場から5分ほど離れたスーパーへ向かい、
半額の弁当を職場の人数分購入します。
(一番下っ端だったので)

そのあとは残業をみっちり8時間行い、
深夜3時に終業。

そこから帰宅し、
寢床につくのは朝の4時ごろです。

そして次の日はいつも通り9時に出社です。

労働時間は18時間。
通常の人のもる2日分を1日で働きます。

休日はぐったり疲れているので、
朝から晩まで寝っぱなしの
ブラック企業で働く人の鏡のような生活。

ただ、ただですよ!?

まだ残業代がしっかりとついて、
給料にプラス α されているなら問題ないですよ。

新卒での入社なので、給料は15万円くらい。

そこから残業を”すべて”付けると、軽く30万円は超えそうです。

僕の給料はいくらだったのでしょうか？

こちらが、実際の給料明細です。

手取りで17万円でした。
月間240時間残業をして、プラス2万円でした。

これがブラック会社の現実です。

新入社員で一番立場の弱いものは、
上司に歯向かうなんてできません。

この現実を受け取るしかないんです。

さらに私は新卒で入社していたので、
まだ税金が引かれていなくてその収入です。

いつも残業をしていると
24時ごろにお腹がすきます。

会社の近所のローソンに
ボロボロの作業着を来て肉まんを1つ買い、

「この生活いつまで続くんだろう…」

そう思いながら職場に戻っていました。

この苦しい生活を
誰かに相談をしようと思いました。

でも、僕の周りにはまだ大学生ばかり。

た学生に会社のことを相談しても、

「そんなのやめればいいじゃん！」

とバイトくらいの軽いノリで答えるくらいで
いいアドバイスは教えてくれなからね^^;

両親にも相談しようと思いましたが、

両親は私が深夜に帰ってくるので、

「こいつは仕事が終わった後に遊んで帰ってきているんだろう」

そう思っていたらしく、
相談しても軽くあしらわれていました。

相談できる相手もないとは、
なかなか辛いものです^^;

そんな生活が1年続き、
仕事帰りに過労から居眠り運転をして電柱にぶつかりそうになりました。

俺はこの会社に殺される。

そう思い、次の日辞表を出しました。

親は新卒の会社を辞めたことに怒っていましたけどね。

その後は一度ニートになりました。

スロットの勝ち方は知っていたのでスロット専業に。

月収50万円をキープしつつ、
2年で1000万以上を稼ぎました。

設定狙いでは
設定6を打つ確率は80%を超え、
お店に行けば設定6を打てる状況でした。

しかし、家族から「そろそろ働け」と言われ、

「たしかに周りも働いているし、もう一度再就職するか」

と決心し、ハローワークで就職先を探し始めました。

<h3>過度な労働で3週間の入院</h3>

次は地元で一番大きな自動車製造工場に就職しました。

前回就職していた会社は給料は激安でしたが、
今回の会社は給料は25万円程度ありました。

これくらいあれば生活にもゆとりができ、
安泰だなと思いました。

しかし、今度は過酷すぎる労働なのです。

働いていた自動車製造工場は、
車のボディーに細かい部品を付けていく仕事でした。

イメージとしてはこれです。

このように車がリフトに乗って流れてきて、
部品をどんどん付けていくのですが、これが重労働。

3分に1台車が流れてくるのですが、
ほんとにきつい。

自分のペースでゆっくり作業した3分ではありません。

もう大人が本気を出した3分間の作業です。

僕は昔テレビで見たことがあります。

アメリカの自動車工場では、
作業員がのガムをくちやくちや食べながら
隣の人と話しながら楽しそうに仕事をしている。

そんなイメージでした。

しかし僕の職場は真逆。

全力でせいぜい言いながら振り切ったの3分です。

そんな労働環境だから、
汗をかいても拭く暇也没有せん。

汗は垂れ流しです。

作業帽子を直す暇も
休憩の2時間後までありません。

そんなのだから、
靴紐が解けたら一巻の終わりです。

休憩までの2時間
靴紐がほどけてストレスがたまりながら
作業をするしかありません。

靴紐がほどけるのが嫌なので、
アロンαで紐を止めていました。

それでも激しい作業で紐が解けるので、
よく休日にアロンαを買いに行きました。

そんな激しい作業をしていると、
僕は痩せすぎてしまい、肺に穴が開く病気になってしまいました。
(肺気胸、といいます)

しかし僕の働いていた会社では、
休むことは許される職場ではありませんでした。

インフルエンザだろうと、
ノロウィルスだろうと関係ありません。

絶対に出社しないといけません。

そしてその”ルール”を破ったものは、
職場では村八分にされてしまいます。

実際に体調不良で休んだ人は
他の部署に飛ばされるか、
職場の一番偉い人に一生無視されます。

僕はそれが怖いので、
肺に穴が開いたまま4日作業をしていました。

5日目になると、もう歩くことも難しいです。

歩くとすぐに息切れを起こします。

それでも職場に行き、
激しい作業をしていました。

でも夕方ごろに歩けなくなり、救急車で病院へ搬送されました。

「どうしてここまで放置していたんだ？片方の肺が完全に潰れているぞ」

とお医者さんから言われました。

歩きにくいと思っていましたが、
まさか片方の肺が潰れて、
もう片方の肺だけで生活していたとは…

病院に着いて診察を受けると、
即手術をしました。

非常に緊急な状態だったそうです。

手術が終わり、職場の上司に電話をしました。

「すみません。入院することになりました」

上司

「はぁ？いいからこの土日で治してこい(ガチャ)」

しかし2日経っても、完全に肺が潰れていたもので、なかなか肺は治りません。

結果として、3週間以上入院することになりました。

その間、職場の人は
誰もお見舞いに来てくれなかったのは、
少しショックでしたけどね^^;

3週間後、私は職場に復帰。

しかし私が復帰しても職場の人は誰も声をかけてくれず、
僕の居場所はありませんでした。

3ヶ月後、職場を去ることに決めました。

<h3>給料が3万下がって労働基準局に電話</h3>

最後に働いた職場は、有限会社の小さな車屋さん。

大手企業から発注を受け、
その仕事をこなします。
(いわゆる、下請け、というやつです)

従業員の数は全員で10人程度。
社長は歴代3代目になります。

しかしこの会社では、人間不信になるような出来事が発生しました。

結論から言うと、社長は金に汚い。

汚いというよりも、
ケチといえば良いかもしれません。

働いたら給料明細というものを
翌月にもらいますよね。

先月働いた分の給料が書いてあって、
残業代が書いてあって・・・というのが普通です。

書いてある数字も、給与182500円、と書いていあるはず。

しかし私の働いていた会社は、給与170000円しかかいていないのです。

「え？え？ええ？？どうのこと？」

わかりますか？給料の端数を切り落としてあるのです。

もちろん残業もしています。

残業代の欄には、残業代10000円、と書いているのです。

残業代まで端数切りとは・・・

会社が不景気という理由で
給料が3万円下がったこともあります。

職場の先輩たちは焦り、
仕事が終わった後に近所のケーキ工場で
ケーキにいちごを乗せるバイトを始めたり、

土日に引越しのアルバイトをして
生活をまかなっていました。

そんな光景を見てられなくて、
僕は勇気を出して労働基準局に電話をしました。

「あの～会社の給料がおかしくて、調査して欲しいです」

労働基準局の人

「そうですが、忙しいのでよほどのことじゃない限り難しいです」

「...」

労働基準局に電話さえすれば
なんとかなる、そう思っていたので僕は悲しくなりました。

誰も僕を守ってくれるものはないんだな、
そう思いました。

しかも会社が不景気というのは嘘で、
社長は大きな船を購入して、
そのお金をまかったのが本当らしいです。
(部長から聞いた)

<h3>両親が交通事故を起こし意識不明の重体に</h3>

ある日母親から電話がかかりました。

両親（父親）が交通事故を起こし、
意識不明の重体に。

なんとか一命をとりとめたものの、
後遺症が残り、仕事復帰が困難になりました。

この頃、親に仕送りをして家計を助けたいと思いました。

僕の親はもう60代手前です。

ここから再就職は絶望的なのは見えていました。

少しでも足しに僕の給料から仕送りをしたいけど、
先日給料が下がったことにより、
給料が17万円なので自分でいっぱい。

仕送りは不可能と気づきました。

スロットで勝つ力は持っていたので、
仕事帰りに月10万～20万程度稼ぎましたが、

「そもそもの給料のベースをあげないときついな」

そう思い、再就職を試みました。

しかし、これまで働いた3社はすべてブラック会社。

次もブラック会社が確定と予測でき、絶望しました。

<h3>ネットで稼いで自由に暮らしている人を発見</h3>

仕事終わりのスロットの稼働中に

「ネットで稼ぐ」という記事を見て、
僕は興味を持ちました。

インターネットでビジネスを行えば、

「月に100万円以上稼げる」

「毎日8時間+残業という制約もない」

「仕事の場所も旅行先でできる」

という今の自分とは

天と地の差があるすばらしい世界を目にしました。

「これしかない！」

そう思った僕ですが、

もちろんビジネスなんて素人。

株が良いのか、FXが良いのか、

転売が良いのか、ブログの広告収入が良いのか、

ユーチューバーになるのが良いのか、

何からすればいいかもわかりません。

あるときたまたまネットで稼いでいる師匠を見つけ、

直接コンサルティングを受けました。

そのときに、

「1日10時間働いて100万稼ぐより、1秒も働かずに100万円稼ぐ方がビジネスマンとしては優秀だ」

と教わり、

「いかに働かずに稼ぐか??」

ということを考え実践。

半年後には月収5万円を達成。

スロット以外でお金を稼ぐのは
それが初めての経験でした。

インターネットビジネスは
本当に稼げるんだ！

そう知って、僕は有頂天になりました。

何より、僕が欲しくてたまらなかった
働きアリのように常に会社のことだけを考えて
働き続ける生活ではなく、

好きな時に旅行に行けたり、
好きなものを食べたり、
大切な人を喜ばせたり、

それでも収入は右肩上がり。

このような自由な生活を
手に入れることができるかも知れないと思いました。

本腰を入れるためにも
ブラック会社を脱サラしました。

その後、月収100万円を超えました。

こんなにもあっけなく稼げるのかと、
今まで会社で働きアリのように働いていたのは
なんだったのか？

そう思うと、今までの人生を無駄にした感覚に襲われました。

毎日数万円の利益が発生するようになったときも、
僕はいつものように家で400円のノリ弁当を食べていました。

環境の変化があまりにも急激すぎて、
実感が追いつかないんです。

ただの偶然だと思いましたが、
翌月も、その翌月も100万円を超えました。

夜寝て朝起きると、
30万くらい利益が発生している日もありました。

僕の信じていた

「死ぬまで働きづめの生活」

「会社の仕事を最優先の生活」

という世界が崩壊しました。

両親にも仕送りをすることができ、
喜んでいました。

趣味の旅行ばかりしていても、
使い切れないほどのお金が入金されるようになりました。

しかもスロットで勝ったお金は別です。

あるとき、月収が430万円になりました。

同世代のサラリーマンが1年かけて稼ぐお金が、
たった数日で稼げてしまうこともありました。

これほど見事に
人生がひっくり返るとは、
自分でも考えたことはありませんでした。

もともとビジネスに興味があったわけではありません。

今のブラック会社で働いている地獄から解放されるには
自分でリスクのないビジネスを行い、
自由になる必要があると思ったからです。

僕は旅行が大好きだから、
ある程度稼げるようになってからは、
夢中でビジネスをするのはやめました。

憧れのあった東京に引っ越して、
1日1~2時間程度の仕事の生活を続けました。

仕事仲間に旅行に誘われると、
帰りの切符を買わずにふらふらと旅行し続けたり、

彼女の休日には飛行機に乗って
旅行に出かけてみたり、

ゲームを買ってひたすら家でやり込んでいました。

そんな生活をしていても収入は伸び続け、
節税対策で会社を設立することになりました。

稼いだ額はゆうに3000万を超えます。

社員0名、僕が1人でパソコン1台で稼いだお金です。

これは放置していても、
収入が発生する「仕組み」を
コツコツ作り上げたからだと思います。

正直、今はこの自由な生活が当たり前になり
お金も時間もなかった当時の気持ちを
少しずつ忘れつつあるのを感じます。

でも、あの頃の悩んでいたことは、
僕の人生で絶対に忘れたくないものの1つです。

<h2>ゆうべるが持っている絶対にブレない信念</h2>

「仕事をしないとお金がなくなる」

ただそれだけのことのために、
今も不自由な暮らしをしている方はたくさんいます。

僕も以前はそうだったので、
その苦しさがわかります。

毎日お金の縛られない自由が欲しいと思いながら
わずかな給料と引き換えに
自分の貴重な時間を会社に売り払っていました。

だから僕は自由に自分らしく生きるということに
人一倍執着するようになったし、

会社で働く人は誰も
自分らしく自由に生きるべきだという考えをいただくようになりました。

僕らの人生は一度しかありません。

一度の人生だからこそ、
自由に生きて思いっきり楽しんだ方が良いです。

欲しいのものは我慢して、
やりたい趣味も我慢して、
大切な人にもたくさんの我慢をさせながら、
お金や生活のために働くだけで
年齢を重ねて死んでいく…

そんなのはあまりにも悲しすぎます。

僕はネットを使って
お小遣い稼ぎの方法を広めたいわけではありません。

月2万や3万といったお小遣いなら

正直誰でも稼ぐことはできます。

が、そんなお金を稼いだところで
永久に自由にはなれないからです。

僕が広めたいのは、

- ・お金
- ・時間
- ・場所

の束縛が一切ない、

自由な生活を手に入れて
人生を思い切り楽しむ方法です。

僕は会社で働き始めると、
定年まで忙しく働く人が良いと思っていました。

サラリーマンという道から逃れるには
会社で忙しく働いてたくさん稼いで貯金して、
ニートになるしかないと思っていました。

給料17万円程度の僕は
一生会社のために忙しく働くものだと思っていました。

もちろん起業や投資などで成功し、
その収入だけで生活している人がいることも知っていました。

でもそんな世界で成功できるのは
ほんの一部の金持ちや天才だけだと思っていました。

だから、コストをかけずに
リスクゼロでインターネットで起業して、

パソコン一台でお金を稼いで
自由に生きているという人が存在することを知った時、

僕はブラック会社で定年まで働き続ける人生から
救われた気がしたのです。

あのときの感動を
少しでも僕の読者さんに伝えたくて、

お金のためにあくせく働く必要がなくなった今も、
こうやってブログやメルマガで情報発信を続けています。

もちろんあなたは自由に興味なくて、
今の生活に心底満足しているかもしれません。

そういう場合はそっと僕のブログを閉じて、
僕の存在は忘れていただければと思います。

自由な生活を手に入れて
人生を思いきり楽しみたい方だけ
僕のブログ等の情報を受け取ってください。

普通に暮らしているだけでは
知ることのできない世界をお見せできると思います。